



卓立ち

加東市立社中学校
生徒指導通信
発行者
(生徒指導)

過程と未来

新年度に入り、約2か月が経ちました。気温も上がりだし、疲れも出始める頃ですが、5月は各学年に行事があり、非常に忙しい中でしたが、充実した期間となりました。

9年生は修学旅行に行ってきました。長崎市内班別研修では、特に「時間」への意識を高く持ち、集合時間に遅れないよう走って移動をする生徒も見られました。生徒の感想を見ると、「ずっと笑っていた感じがしました。気づいたら1日が終わり、気づいたら修学旅行が終わって

いました。皆の新しい一面が見れて楽しかったです」「平和って尊いものだとより感じた。皮膚がただれてしまった子どもを見て恐ろしいものだと思いました。平和な世の中をつくるために、過去をしっかり学び、後の世代に受け継いでいかなければならぬと思いました」今年の修学旅行のスローガン「開こう平和への扉」にあるように、平和学習ではそれぞれのクラスで作った折り鶴アートにメッセージを込め、各班で平和宣言を行いました。原爆資料館内の「令和6年度の長崎平和宣言」の長崎市長の言葉の一文に「1人ひとりは微力であっても、無力ではありません」とありました。当時の状況に思いを巡らせ、現在の世界情勢もふまえて、「当たり前の平和」について、考えを改めました。また、8年生は21日に姫路市にあるものづくり大学校にて「ものづくり体験学習」を行いました。各分野に分かれ、スペシャリストに指導を受けながらものづくりをすることを通して、働くことの楽しさ・難しさに触れることができました。プロの職人さんからものづくりについて肌で感じながら学ぶ有意義な時間となりました。



★9年生
平和集会★



★9年生 ペーロン★

秋に行われる予定の「トライやる・ワーク」へつなげていきたいです。各学年の行事に参加した中で強く感じたことがあります。それは、「積み上げる力」です。9年生の修学旅行では、集合した時に自然と静かになる姿、健康観察や食事係など、それぞれの役割をしっかりと務める姿、先生に限らず実行委員や添乗員さん、ホテルの方等々、いつ誰が前に出て話をしても目・耳・姿勢でしっかり聞く姿など・・・

あらゆる場面で「さすが、9年生」と感じました。個人の成長で集団が大きくなります。集団の中で役割を務めることで個人の力が成長します。その両輪がしっかりと機能することで、全員の大きな

成長につながるということを、改めて実感しました。7・8年生も、まだまだ行事は控えています。今回の行事を通して得た成功と課題を、今後につなげていきましょう。



★8年生 ものづくり★



7年生 校外学習 「大阪・関西万博2025」

7年生は、20日に中学入学後はじめての校外学習である「大阪・関西万博」へ行きました。

話題の場所へ行けるということで、準備段階からワクワクがおさまらない様子がありました。写真は「電力館～可能性のタマゴたち～」です。タマゴを

自分のエネルギーと見立てて色々なゲームに参加し、カーボンニュートラルについて考えを深めました。



今回の校外学習では、7年生の課題として「しおりを教室に忘れるといった事前準備」や、「公共の場であるのにはしゃぎ過ぎてしまう」などが出ました。その一方で、「集合時間守ろうとする意識の高さや臨機応変な判断力」や、「班のメンバーがはぐれることなく協力して活動する」といった良さもたくさん見られました。今後の学校生活や、次の行事である秋のわくわくオーケストラ教室へ活かしていきましょう。

私が万博に行って印象に残ったことは「可能性のタマゴたち」と班のみんなで行った「コモンズ A・B・E」です。「可能性のタマゴたち」では、友だちと楽しみながらゲームをして、電気の大切さやエネルギーの大切さなどを学ぶことができました。コモンズ A・B は、たくさんの国の名前や地図、その国それぞれの物があって国によって全然違うことが分かりました。E ではたくさんの絵があっておもしろかったです。